

令和5年度第1回習志野市公民館運営審議会 会議録

1 日 時：令和5年7月26日（木）午前10時から11時10分まで

2 開催場所：中央公民館（プラッツ習志野北館）1階集会室

3 出席者

【委員長】：川松 和昭 会長

【委員】：後藤 京子 副会長、井上 聡子 委員、中台 雅之 委員、
横山 智子 委員、小倉 恵子 委員、村田 典子委員、
富吉 麻衣子 委員、高岡 明美 委員、福嶋 尚子 委員

【出席職員】：教育長 小熊 隆

担当部局：生涯学習部長 片岡 利江

生涯学習部次長 芹澤 佐知子

生涯学習部副参事 越川 智子

社会教育課管理係長 佐野 一徹

実花公民館長 鳥飼 一哉

袖ヶ浦公民館長 鈴木 昭仁

谷津公民館長 鈴木 俊哉

新習志野公民館長 加藤 孝順

【事務局】：中央公民館長 小久保 範彰

菊田公民館長 竹口 正樹

中央公民館主査 大津 聡美

中央公民館主査 三橋 和輝

菊田公民館主査 滝 一郎

【傍聴者】：0人

4 会議内容

第1 会議の公開

第2 会議録の作成等

第3 会議録署名委員の指名

第4 報告

(1) 令和4年度公民館事業の実績報告について

(2) 令和5年度公民館事業・予算について

第5 その他（事務連絡等）

5 配付資料

会議次第_令和5年度第1回公民館運営審議会

報告1_令和4年度公民館事業の実績報告について

報告2_資料1_令和5年度公民館の事業・予算について

報告2_資料2_令和5年度習志野市主催事業計画総括表

6 議事内容

第1 会議の公開

会議を公開することについて、議決により決定した。

第2 会議録の作成等

会議録は要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課を記載した上で、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて公開することを決定した。

第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員の指名について、村田委員と富吉委員を指名し決定した。

第4 報告

報告(1) 令和4年度公民館事業の実績報告について

川松会長

報告(1)令和4年度公民館事業の実績報告について、事務局から説明をお願いする。

中央公民館長

はじめに令和4年度公民館事業の実績報告について3点説明する。次に、中央公民館の主な事業について2点説明する。その後、各公民館長から事業報告をする。

1点目は公民館運営審議会の開催である。

令和4年度は2回開催し、7月は事業の実績及び予算について報告、2月は指定管理者のモニタリング結果等について報告した。詳細は「令和5年度公民館要覧」(以下「公民館要覧」という。)43ページ「令和4年度公民館運営審議会審議内容」を参照いただきたい。

2点目は地区学習圏会議の開催である。

各公民館地区における生涯学習の推進を図り、学校、地域、公民館が連携し様々な活動を行った。主な活動として、中央公民館地区では「大久保ハミングコンサート」、「み

な友ライブ」、菊田公民館地区では「森の音楽会」、「菊田かるた大会」、実花公民館地区では「花いっぱいボランティアくらぶ」、「実花かるた会」、袖ヶ浦公民館地区では「フレンドシップコンサート」、「門松づくり」、谷津公民館地区では「バラの街♪音楽会」、「“ポッチャ”体験研修会」、新習志野公民館地区では「海辺のコンサート」、「新習ふれ愛まつり」等を実施した。詳細は公民館要覧 44 ページから 47 ページ「令和 4 年度地区学習圏会議活動報告」を参照いただきたい。

3 点目は公民館事業である。

公民館事業では「家庭教育」、「少年親子」、「青年」、「成人」、「高齢者」及び「地域協働・文化活動」の 6 領域について、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の目的や思考、ライフステージに対応した魅力ある講座を実施した。

続いて特徴ある事業を各公民館長から順次説明をする。

初めに資料 4 ページ、中央公民館について説明する。

18 番「スマートフォン体験講座」は情報政策課の企画によるもので、携帯電話会社 2 者へ講師の派遣を依頼し、高齢者がスマートフォン操作の基礎を学んだ。24 番「ハミングコンサート」及び 25 番「みな友ライブ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた地域の小中学校等による音楽会を 3 年ぶりに開催したものである。当日は保護者や学校関係者等、多くの方が音楽会を楽しんだ。

菊田公民館長

資料 5 ページ、菊田公民館について説明する。

12 番「市民協働企画講座」は生涯学習相談員が地域の伝統として伝わる行事や人物を取り上げ、わかりやすく解説する歴史探訪講座で年 2 回開催した。昨年は「天道念仏」及び「吉野茂助」をテーマに魅力的な講座を開催した。19 番「きくたこどもフェスタ」は、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「きくたこどもまつり」が中止となり、代替イベントとして 7 月下旬に「きくたこどもフェスタ」として開催したものである。多くの子どもたちが公民館講座に参加した。今年度は「こどもフェア」として 5 講座を開催した。今後も定着させていきたい。

実花公民館長

資料 6 ページ、実花公民館について説明する。

15 番「地域歴史探訪」は、実花公民館地区在住の樹木医と、市内の名木を巡る講座である。全 3 回を予定していたが、熱中症アラートの発令により 7 月は急遽中止となり、2 回の開催となった。今年度は熱中症が危惧される季節を回避し、5 月・6 月で 2 回実施した。21 番「しめ飾りづくり」は実習で伝統的に行われている藁を使った正月飾りの講座である。大変人気があり、毎年リピーターがいる。なお、今年度は実花公民館以外に谷津公民館でも同じ講師によるしめ飾りづくりの講座を計画している。

袖ヶ浦公民館長

資料 7 ページ、袖ヶ浦公民館について説明する。

12 番「ならしのリーダーズ」は県立津田沼高等学校理科部の生物班及び科学班と共に子ども講座の「化石のレプリカづくり」・「電気自動車づくり」を企画した。プログラムの目的の一つは高校生の持つ社会資源や資質を地域に寄与し、自己進捗を促すことである。講座は全 5 回、全てに振り返りの時間を設けた。その結果、高校生の本音など、公民館に対する要望を聞くことができた。企画運営の軌道修正もでき、公民館職員も学ぶことが大変多かった。なお、参加生徒には校長を通じて習志野市発行の「まちづくり参画証」を渡した。16 番「はじめての園芸講座」は公民館の敷地内にプランターを設置し、熟練の指導者の下、野菜の育て方や土づくりについて学んだ。講座は全 5 回だが、受講生は水やりのため時々来館し、成長する植物の姿に喜びを分かち合っていた。収穫物は受講生にとって食欲を満たすことに何よりの喜びを感じられたようであった。

谷津公民館長

資料 8 ページ、谷津公民館について説明する。

令和 4 年度のテーマとして、SDGs 講座、親子で取り組める講座、ニュースポーツの講座、地域の歴史講座に意識的に取り組んだ。5 番「子ども講座」は紙をリサイクルして牛乳パックからカラフルな団扇やクリスマスツリーを作製したり、新聞紙で「しまんとバック」を作製した。水とトイレについての学習では防災を考え、住み続けられるまちづくりについて学習した。灰を使ったカラフルなエコキャンドルも作製した。また、子どもたちは津田沼高校生と一緒にニュースポーツ「ダブルダッチ」を楽しんだ。7 番「わくわく親子冒険団」では親子でピタゴラスイッチを作った。この講座は父親の参加が多く見られた。また、親子で移動図書館を利用し、読み聞かせを通して本の楽しさを体験した。11 番「健康いいこと講座」はレクリエーションスポーツの「ラダーゲッタ」、「グランドゴルフ」、「ポッチャ」、「ユニカール」を紹介し、体験を通して心身の健康と仲間づくりを図った。12 番「大人の学び講座」は習志野、谷津地域の歴史について学んだ。受講生からは「今まで地域の歴史をなかなか知ることができなかったが、この講座を通じて知ることができて大変嬉しかった」との感想があった。18 番「市民文化祭」は、親子でハワイのリボンレイのストラップやハロウィンの装飾づくり等工作を行った。親子で取り組み、子どもたちは楽しい活動ができた。21 番「ちびっこクリスマス会」は第一中学校生徒がボランティアで参加し、親子で楽しいクリスマス会を実施できた。22 番「谷津公民館バザー」はコロナ禍で 4 年度は中止だが、5 年度は実施予定である。

新習志野公民館長

資料 9 ページ、新習志野公民館について説明する。

6番「子ども講座」は新習志野公民館地区の小学生が参加し、特に千葉工業大学の学生の協力により運営している。学生と共に草木染や手品に取り組んだ。また、国際理解として、JICA(ジャイカ)海外協力隊と連携を取り、あまり馴染みの少ない国について学習した。4年度はトンガ、5年度はジャマイカを計画している。
続いて、家庭教育の3番「すくすく親子サロン」及び4番「よちよち親子サロン」は、2歳児と1歳児に分けて行う親子講座である。子どもとの関わり方を学び、特に母親同士の交流の場となっている。親子で楽しく子育てができる企画を考え実施している。

川松会長

ただ今の説明について、質疑や意見はあるか。

福嶋委員

菊田公民館の実績で、「子どもの部屋」の人数はなぜ0人なのか。

菊田公民館長

コロナの影響で参加者がいなかった。

横山委員

PTA家庭教育学級が少ないのは、コロナの影響か。それとも学校側に何か理由があったからか。

中央公民館長

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛したことによる。少子化に伴う学級数減少や共働き家庭の生活スタイルの変化等、様々な理由から減少傾向にある。

村田委員

7番、「子どもの部屋」の利用者がコロナ禍のため少ないことはわかる。しかし、中央公民館の利用日は通年だが、他の公民館で週1回の利用日としているのは、回数として少ないのではないか。望ましいのは月曜日から金曜日までのすべてだが、せめて週3回位利用できれば子どもたちのためにもなる。

中央公民館長

月曜日から金曜日までという話があったが、市内公民館は月曜日が休館である。子どもたちの環境改善については、今後の研究課題とさせていただきたい。

村田委員

周知しているのか。

中央公民館長

館内の掲示物等、各公民館で対応している。

村田委員

公民館における「子どもの部屋」の開放について、学校側から伝えないと、大半の親も子どももおそらく知らない。学校と連携するとよいと思う。

中央公民館長

今後、対応していく。

川松会長

音楽活動の様子について、報告をお願いしたい。

中央公民館長

主な事業での説明と重複するが、4年度は市内公民館で音楽会を実施させていただいた。

報告（2）令和5年度公民館事業・予算について

川松会長

報告（2）令和5年度公民館事業・予算について、事務局から説明をお願いする。

中央公民館長

資料10ページについて説明する。

まず、運営状況について、市直営館の中央及び菊田の2公民館、並びに指定管理館の実花、袖ヶ浦、谷津及び新習志野の4公民館により運営している。職員配置状況は記載のとおりである。次に職務の内容について、習志野市内6公民館は、施設の提供から、維持管理、定期講座、各種イベントの開催、サークルの支援である。加えて、学校・地域との連携した事業等、幅広く業務を行っている。

11ページは令和5年度事業計画の概要である。

乳幼児期から高齢期に至るまで、「家庭教育」、「少年親子」、「青年」、「成人」、「高齢者」及び「地域協働・文化活動」の6領域に区分し、ライフステージに応じた学級・講座を開催している。詳細は、公民館要覧を参照いただきたい。

続いて、12 ページは主催事業計画の総括表である。

各公民館における、6 領域の事業を学級数、学習回数をまとめた表で、一番下の欄に年間の事業数、学級数、回数を記載している。一番下の右端、令和 5 年度と令和 4 年度を比較すると、概ね同程度の事業計画になっている。

次に、令和 5 年度各公民館の特徴的な講座の主なものを説明する。

中央公民館は 15 番「環境講座」として、子どもと大人の SDGs のゲームを開催予定である。

菊田公民館は 13 番「公民館で学ぶ 市民協働企画講座」及び 19 番「菊田の杜コンサート」等を開催予定である。

実花公民館は 4 番「子ども講座」として『放課後お化け屋敷』、12 番「みはなっ子リーダーズ」では『子どもチャレンジ大会』を開催予定である。

袖ヶ浦公民館は 9 番「しぜんくらぶ」でカブトムシやスズムシの生態を学ぶ。

谷津公民館は 11 番「健康いいこと講座」でニュースポーツ、モルック、カレットの講座を開催予定である。

新習志野公民館は 23 番「大学交流事業」として千葉工業大学との交流を行っている。

続いて、令和 4 年度第 2 回習志野市公民館運営審議会において、村田委員から、夏休み期間中の子どもの居場所づくりに関する公民館諸室を活用したイベントの開催等についてのご意見をいただいた。そこで、今年度 7 月から 8 月の夏休み期間中に各公民館で開催される主な子ども講座や親子講座を紹介する。

中央公民館では「伝統文化子ども教室」として房総太巻き寿司づくりや、家庭用プラネタリウムを活用した「夏の夜空のものがたり in プラネタリウム」等を行う。

菊田公民館では勾玉づくりや天文講演会を行う。

実花公民館では手づくりアイスクリームや子どものパンづくり講座を行う。

袖ヶ浦公民館では子ども映画会や習志野市議会探検隊等を行う。

谷津公民館では紙飛行機や段ボールで収納ケースを作る。

新習志野公民館では陶芸や世界の国の魅力発見、チュニジア編等を行う。

以上、各公民館の主な夏休み講座、親子講座について報告をした。

最後に 13 ページ、令和 5 年度予算について説明する。

令和 5 年度公民館費の予算総額は 2 億 211 万 1,000 円で、4 年度に比べ 1,504 万円増となっている。主な理由は工事請負費に記載のとおり、工事内容や予算額の違いによるもので、令和 5 年度は袖ヶ浦公民館で屋上防水等改修工事及び駐車場舗装工事を実施する予定である。令和 5 年度の公民館事業予算についての説明は以上である。

川松会長

ただ今の説明について、質疑や意見はあるか。

村田委員

予算書に記載の「旅費」とは何か。

中央公民館館長

船橋、浦安、習志野、3市で構成する、「葛南地区公民館連絡協議会」への出席に伴う、交通費である。

後藤委員

今年度と昨年度の事業を比較すると、昨年度より学級数が結構増えている。コロナが5類になり、運営面や事業内容について色々変わった箇所がある。例えば事業では、時間の短縮や延長、変化があったのか伺う。

中央公民館館長

コロナ禍の対応として、国・県の新型コロナウイルス感染症の法律等に沿って、事業の休止や、回数・時間数・定員等を制限していた。その後、様々な条件が緩和され、現在は概ねコロナ禍前の事業計画で実施している。

福嶋委員

予算で、一番下の「負担金」が令和4年度に比べ減となった理由を伺う。また、新習志野公民館の事業で JICA(ジャイカ)海外協力隊と連携して馴染みの少ない国を取り上げているが、馴染みのある国もどういう国か知る機会として取り上げても良いのではないか。今後検討いただきたい。

中央公民館館長

新習志野公民館と情報共有を図りながら、今後の検討課題とさせていただきたい。

負担金については、令和4年度は葛南地区連絡協議会の負担金及び新習志野公民館においてガス漏れ対応のための支出があった。令和5年度は葛南地区連絡協議会ほか協議会負担金のみの予算となっている。

福嶋委員

ガス管漏れに対応する費目が無かったということか。

中央公民館館長

お見込みのとおりである。

福嶋委員

令和4年度予算の内容として、負担金のところが、ガス管漏れの修繕に使うというこ

とで、説明がされたということか。

社会教育課佐野管理係長

補足させていただく。新習志野公民館のガス漏れに伴い、習志野市企業局がガス管工事を行った。企業局に対する市からの支出は、工事費ではなく負担金として支出する。緊急的な支出のため、負担金の額が増したということである。

福嶋委員

令和4年度のこの欄は、予算額ではなく実績と解してよいか。

中央公民館館長

緊急的支出に伴う予算となる。

福嶋委員

令和5年度は予算、令和4年度は実績という形で書いていただいとほうがよい。

川松会長

子どもたちの夏休み期間中の公民館事業において、村田委員の意見と同様、親のニーズに合った形でやっていただければと思う。

富吉委員

今年度から中央公民館以外の公民館でも、Wi-Fi（ワイファイ）環境が整うと聞いている。現在の状況について伺う。

中央公民館館長

設置済みの中央公民館を除く各公民館において、受付窓口や館内で周知している。

5月20日以降からポケットWi-Fiの貸出しを開始した。各公民館から早速、活用いただいていると聞いている。

後藤委員

菊田公民館の青年事業の活動予定について伺う。

菊田公民館館長

東邦大学ボランティアクラブの学生と連携を取り、子ども向けの講座の依頼をした。子どもたちが喜ぶ、実験的な講座をコーナーいくつか設け、実施予定である。

後藤委員

時期にもよるが、沢山の子どもたちに参加してもらい、大学生と交流してもらいたい。

菊田公民館長

秋以降に実施予定である。

村田委員

現在、高齢者向けにスマートフォン体験会を実施しているが、ぜひ、子どもたち向けの体験会も実施してほしい。例えば、スマートフォンの画面に Cookie(クッキー)のメッセージが出ても、子どもたちは、後先考えずに「はい」を押してしまう。ゲームでは次の画面で続けられる意識が先行して「はい」を押してしまう。本人は課金する感覚がない。そのため親自身も自分のスマートフォンで LINE(ライン)や Twitter(ツイッター)等、セキュリティの実践的な講座について学びたい。夏休み講座等で実施願いたい。併せて新たに ChatGPT(チャットジーピーティー)も出てきている。その辺は専門家に教えていただきたい。

中央公民館長

今後の検討課題とさせていただきたい。

先ほど福島委員から質問があった、令和4年度予算の負担金による、ガス漏れ対応について、実績と申し上げたが、正しくは補正予算と訂正させていただく。

川松会長

これをもって、令和5年度第2回習志野市公民館運営審議会を閉会する。